

## 京都まなびの街生き方探究館における 中学生の体験学習に御協力いただける企業等の募集について

京都市教育委員会では、京都市立学校の生き方探究教育（京都市版「キャリア教育」）を推進する体験型の学習施設である「京都まなびの街生き方探究館」（以下「探究館」という）において京都市立中学校等の生徒を対象に実施している学習プログラム「ジョイJOB LAND」（以下「ジョイJL」という）に御協力いただける企業・団体（以下「協賛企業」という）を以下のとおり募集しています。

P3の「3 協力いただきたい内容」などを御覧いただき、少しでも興味ございましたら、先ずはお気軽に、P6の「9 お問い合わせ先」までお電話ください。

本事業の趣旨に賛同いただき、次代を担う子どもたちの体験学習に御支援を賜りますようお願いいたします。

### 1 協力いただきたい学習プログラム「ジョイJL」の内容

#### (1) 概要

ジョイJLは、中学生（主に1年）が探究館内に整備された施設で、「実在の企業が行っている業務」と「企業研究等の就活準備」をリアルに体験し、自身の将来の生き方を考える学習プログラムです。学校の授業の一環として活動します。

探究館内での体験活動は、様々な業種の協賛企業の参画を得て実施しており、社員の方に活動の進行・支援・評価などを行っていただいています。普段の学校の授業にはないプロの見方や考え方に直接触れる貴重な体験を通して、将来に繋がる様々な気づきを得る機会となっています。

#### (2) 体験活動の内容

中学生がJOB LAND（探究館2階・活動場所）で開催される「就職活動支援セミナー」に参加する求職者（就職活動する大学生）になって、以下の2つの体験活動に取り組みます。

#### ●体験活動Ⅰ「業務の実践体験」

活動内容	セミナーの講師＝協賛企業の社員から指示される業務の実践体験に取り組みます。
活動の流れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 講師から企業の事業活動の内容等の説明（ガイダンス）を受けた後に、業務課題＝Job Missionの提示を受けます。</li> <li>② グループでJob Missionに対するアイデアをまとめて、企画書を作成し、発表を行います。</li> <li>③ 最後に講師から活動への評価を受けます。</li> </ul>
運営方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ Job Missionは、協賛企業が行っている商品やサービスのアイデアを考え出す業務内容から設定しています。</li> <li>○ 協賛企業の社員の方に、セミナーの講師役となり、仕事内容の説明や業務課題の提示、取組への評価などを行っていただいています。</li> <li>○ 60～80名程度の生徒が一斉に集まって活動します。 なお、Job Missionには、4名程度のグループに分かれて取り組みます。</li> </ul>

## ●体験活動Ⅱ「就活準備の実践体験」

活動内容	就職活動の準備段階で行う「自己分析」「企業研究」「マッチングの分析」の実践体験に取り組みます。
活動の流れ	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 各自が事前にJOB LANDにある12の企業ブースの中から選択したブースに分かれます。</li> <li>② ワークシートに従って自己分析を行います。</li> <li>③ ブースにある資料（パネルや動画、会社案内等）を見て、企業の研究を行います。</li> <li>④ 自己分析と企業研究の結果を照らし合わせ、自身と企業との相性を分析します。</li> <li>⑤ 他の参加者（生徒）と分析結果を共有したり、セミナー運営スタッフからアドバイスを受けたりします。</li> </ol>
運営方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 企業ブースは、協賛企業に整備・出展いただいています。</li> <li>○ 進行（セミナー運営スタッフの役割）は、探究館が募集したボランティア（主に市民の方）が行います。</li> </ul>

### (3) 育成を目指す資質・能力

現在の中学生在が社会人となり働き出す頃には、Society5.0やVUCAの時代と言われる社会を迎え、答えのない困難な課題に対して、創造力等の人間ならではの力を発揮し、未来志向の価値観で協働して解決策を見出していくことが重要になると考えられます。そのため、ジョイJLを通して、「解決すべき課題を見出し、主体的に考え、表現する力」や「多様な立場の者との対話・協働を通じて、新たな価値や納得解を生み出す力」の育成を目指しています。

また、体験活動の中で、将来の生き方に関わる気づきを得たり、必要となる力を考えたりすることにより、日々の教育活動が、将来働く時に必要な力を身に付けることに繋がっていると実感し、学習意欲が高まることを期待しています。

### (4) 学校での事前・事後学習の内容

探究館での体験活動をより効果的にするため、来館する前・後に、学校において関連する学習を教員の指導のもとで実施します。

自分の人生や働くこと、SDGsを題材に世界をより良い場所にするために必要なことを考えたり、人生や仕事で自分がなりたい姿をまとめたりします。

**※プログラムの詳細な内容は、参考資料1（P7～10）を参照ください。**

## 2 現在の協賛企業（令和5年10月現在）

現在、御協力いただいている企業・団体は、以下のとおりです。

大阪ガスネットワーク(株)／関西電力(株)／(株)京都新聞社／京都中央信用金庫  
 京都料理芽生会／(株)公益社／(株)ジェイコムウエスト京都みやびじょん局  
 ジブラルタ生命保険(株)／(学)大和学園／三井不動産(株)／(株)ローソン  
 ワタベウェディング(株)

### 3 協力いただきたい内容

以下(1)と(2)のうち、(1)は必ず協力いただきたい内容となります。

(2)は協賛の可否を選択いただけます。

#### (1) 体験活動Ⅰ「業務の実践体験」に係る内容

##### ① 講師役の社員の派遣

セミナーの講師役となり、体験活動の進行や支援、評価を担っていただく社員や職員（以下「社員」という）を派遣ください。

派遣いただく社員の職種や役職などは指定しませんが、ジョイJLのねらいに沿って、中学生にとって分かりやすい講話ができる人材を選任ください。

##### ●派遣いただく回数

年間に最大5回(日)程度を想定していますが、実施を希望する学校数や協賛企業数により増減します。各協賛企業の希望をお伺いし、相談の上、決定します。

##### ●1回当たりの派遣人数

生徒が自主的に活動することを基本方針としており、また、探究館の職員も支援を行いますので、1名で支障はありません。

しかし、より効果的に活動を進めるために、複数名の派遣を検討いただければ幸いです。

##### ●派遣いただく日程

具体の日程は、学校の授業期間中（平日で夏休み等を除く）のうち、各協賛企業の都合をお伺いし、探究館が学校と調整の上、決定します。

なお、1回(日)当たりの拘束時間は、午前又は午後の3時間程度となります。

##### ② 生徒が取り組む「業務課題=Job Mission」の提案

生徒が取り組むJob Missionの案を以下の条件に従って提示ください。

提案をもとに探究館の職員と協議していただき、最終決定します。

##### ● Job Mission の条件

- 1) 4名程度のグループで、アイデアを考え・出し合い、一つの企画書にまとめる体験活動となるJob Missionとする。
- 2) 現在や未来の課題の解決につながる商品やサービスのアイデアを考えるJob Missionとする。
- 3) 正解を求めるのではなく、自由な発想で、アイデアを考え出す体験活動に繋がるJob Missionとする。
- 4) 実際の業務内容をベースとしたJob Missionとする。
- 5) 中学生が習得していると想定される知識の範囲内で、興味・関心を持って取り組むことができるJob Missionとする。
- 6) 中学生の学校教育活動として適切なJob Missionとする。

※ 活動に際して生徒が使用するワークシート（企画書の様式）は、探究館がJob Missionに合わせて作成します。

※ 現行の協賛企業のJob Missionは、P10のとおりです。

また、Job Mission を提示いただくときに、必要となる知識や考えるヒントになる説明内容を提案ください。合わせて、話し合いを活発化させる資料（動画、写真、イラスト、図表、グラフなど）を提供ください。

### ③ ガイダンスにおける説明内容及び資料の提案・提供

Job Mission に取り組む前に、自社の事業活動の内容などを説明していただく時間（ガイダンス）を設けており、その説明内容を以下の事項に従って提案ください。合わせて、説明時に、生徒の理解を助けるための資料（パワーポイントや動画）を提供ください。

#### ●ガイダンス時に説明いただきたい事項

- ・講師の紹介（経歴・人生観・就職時の志望動機など）
- ・企業・団体の概要      ・経営理念      ・目指している社会的な役割
- ・採用の際に求める能力や人材像      ・生徒へのメッセージ
- ・特徴的な活動内容

※中学生の発達段階に応じた説明内容となるように留意ください。

※説明に対する質疑応答の時間を設けています。

※説明の際には、探究館に備え付きのノートパソコンやプロジェクター、スクリーンを利用いただけます。ノートパソコンは、持ち込みも可能です。

## (2) 体験活動Ⅱ「就活準備の実践体験」に係る内容

探究館が指定する区画に、生徒が貴社の研究を行うためのブースを、以下の基本仕様に従って整備（常設）し、整備した施設設備を保守管理してください。

#### ●ブースの基本仕様

- ① 標準的な区画は、面積が約 33 m<sup>2</sup>（4.5m×7.3m）で、3方向が壁に囲まれ、1方向（出入口）が廊下と接続し全面開放となっている。
- ② 壁面と床面は、最低限の内装や照明器具が整備されている。  
必要に応じて、自社のブランドイメージなどに沿った装飾や什器の設置を行う。
- ③ 出入口の上部に、自社の名称を吊り看板などにより表記する。
- ④ 生徒が使用するワークシートにある以下の項目に係る情報をパネルなどにより表示する。

#### ●情報の項目

- ・基本情報（本社の所在地、従業員数、求める人材、経営理念）
- ・仕事内容      ・働く人のエピソード
- ・従業員の働き方に関わる制度（研修、休暇制度、福利厚生など）
- ・その他、研究の参考になる情報

#### ●展示物・展示方法

パネル／ポスター／会社案内・採用パンフレット・各種冊子／会社や業務内容を紹介する動画（モニターを含む）／イラストや図表等の電子データ／業務に関わる商品や物品

※生徒が関心を高めて活動できるブースになるよう工夫をお願いします。

※日常の管理や光熱水費の負担は、探究館で行います。

※生徒がブースで使用する机・椅子は、探究館から提供します。

※協賛の終了に際しては、原状回復をお願いすることになります。

※ブースでの活動の進行は、探究館が募集するボランティア（主に一般市民の方）により行いますので、体験活動Ⅱへの社員の派遣は不要です。

※ブース数には上限があるため、多数の申出があった場合は、協賛をお断りすることがあります。

#### 4 対象とする企業・団体

- (1) ジョイ J L の趣旨に沿った業務課題＝Job Mission となる商品やサービスの販売・提供する事業活動を行う企業及び法人格を有する団体（以下「企業等」という）を対象とします。
- (2) 企業等で組織された団体（この場合は法人格は不要）が協賛し、その加盟企業等が交替で、自社のことを題材として協賛内容を実施することは可能です。  
また、支社・支所による協賛の申込も受け付けます。
- (3) 営利・非営利は問いません。
- (4) 以下の①～⑦の項目に該当する場合は、対象外とします。
  - ① ジョイ J L の目的や活動内容に沿った教材の提供や人材の派遣を行うことができない企業等である。
  - ② 教育的見地や中学生の発達段階を考慮して、中学校の授業として取り扱うことが適切でない事業活動を行う企業等である。
  - ③ もっぱら政治性や宗教性のある事業活動を行う企業等である。
  - ④ 主に小学生、中学生又は高校生に限定した商品やサービス（学習指導や教養技能教授を含む）を有償で販売・提供する事業活動を行う企業等である。
  - ⑤ 主に特定の事柄及び主義主張の普及啓発やその実現を目的とする活動を行う企業等である。
  - ⑥ 求人募集を行っていない企業等である。
  - ⑦ その他、本市の教育行政としての社会的な信頼性及び公平性を損なうおそれのある企業等である。

#### 5 協賛期間

- (1) 協賛いただく期間は、3年毎の更新を基本としておりますが、希望に応じて対応させていただきます。  
できる限り長期間の協賛をお願いします。
- (2) 協賛を開始する時期は、準備作業や学校との調整の進捗状況などを考慮し、希望を踏まえ、決定させていただきます。
- (3) 協賛に際しては、本市との間で、協定書を締結させていただきます。

#### 6 申込手続の方法

- (1) 受付は、常時、行っています。
- (2) 協賛を検討いただける場合は、P 6 のお問い合わせ先に連絡をお願いします。  
まずは、プログラム等の説明に伺わせていただきます。その後、施設見学のうへ、協賛の可否を決定ください。  
少し興味があるという段階でも、お気軽に連絡ください。
- (3) 詳細な手続きの方法は、面会時にお伝えしますが、参考資料 2（P 1 1 ・ 1 2）の様式により協賛申込書の提出を求めます。

## 7 留意事項

- (1) 社会貢献活動の一環としての協賛をお願いするものであり、社員の派遣やブースの整備、打合せ等で必要となる一切の経費は、協賛企業の負担となります。  
なお、ブース内の電気代や備え付きの施設設備は、探究館が負担します。
- (2) ジョイ J L の実施に当たっては、探究館の外部の方を含む検討委員会を設置し、委員の意見を反映しながら運営を行っており、検討委員会での意見を踏まえ、協賛をお断りする場合があります。
- (3) 「3 協力いただきたい内容」に限らず、活動の充実に繋がる協力が可能な協賛内容がある場合は、その内容を提案ください。ただし、無償での協賛に限ります。

## 8 京都まなびの街生き方探究館の概要

平成19年1月に産学公連携の下で、生き方探究教育（京都市版「キャリア教育」）を推進する拠点として開設した体験型の学習施設です。

施設は、元滋野中学校（平成14年3月に閉校）の校舎を改修し、活用しています。

企業の協力を得て、発達段階に応じた体験型の学習プログラムを京都市立小・中学校等に提供しています。児童・生徒が授業の一環として、館内に整備された施設での体験学習とその前後に学校で関連する学習を行います。

### ●生き方探究教育（京都市版「キャリア教育」）とは

一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくことができるようにする教育

※当館のホームページも参考に御覧ください。

<http://www.edu.city.kyoto.jp/scfp>

## 9 お問い合わせ先

京都市教育委員会 京都まなびの街生き方探究館 企画推進室

〒602-8031

京都市上京区西洞院通下立売下る東裏辻町402

TEL 075-253-0880

E-mail scfp@edu.city.kyoto.jp

※電話でのお問い合わせは、平日の午前9時から午後5時の間にお願いします。

### ～小学生用プログラムへの協賛について～

探究館では、ジョイ J L と同様の目的で、小学生（主に5年生）を対象にした学習プログラム「わくわく WORK LAND」を実施しており、そのプログラムにおいても協賛企業の社員の方に体験活動の進行を担っていただいています。

ジョイ J L に比べ、実施校が多いため、社員を派遣いただく回数が増え、拘束時間も長くなりますが、より多くの子どもたちが貴社に関しての理解を深めることに繋がりますので、定期的に社員派遣が可能な場合は、こちらへの協賛を検討ください。

御連絡いただければ、詳細の説明に伺わせていただきます。

京都まなびの街生き方探究館  
中学校用プログラム



## I 目的

生き方探究館では、近年、社会状況や企業活動、個人の生活様式が大幅に変化していることを受け、その変化を反映し、未来社会を見据えた、京都市オリジナルとなるプログラム「ジョイ JOB LAND」を開発し、令和4年12月から実施している。

産学公連携のもとで、これまでの成果を発展させた、京都ならではのプログラムを実施し、京都市の生き方探究教育の更なる充実を図る。

## II プログラムのねらいや方向性

### 1 基本的な方針（コンセプト）

Society5.0 や VUCA の時代と言われる未来社会の中で、自分らしい心豊かな生き方を実現し、持続可能な社会の創り手となることができる子どもの育成につながるプログラムを目指す。

### 2 育成を目指す資質・能力

未来社会を見据え、以下の2点の育成を目指してプログラムを開発している。

- ① 未来社会を前向きに受け止め、人間ならではの感性を働かせながら、ICT等の先端技術を活用し、目の前の事象から解決すべき課題を見出し、主体的に考え、表現する力
- ② 多様な立場の者との対話や協働を通じて、知識やアイデアを共有し、新たな価値や納得解を生み出す力

### 3 重点的な取組内容

企業が行っているアイデアを出す仕事に、仲間と協働して取り組み、意見をまとめて、発表させるなど「モノ・コトの見方・考え方を広げる」と「非認知能力を引き出す」ことに繋がる活動を重点的に実施する。

- ① 『モノ・コトの見方・考え方』を広げる  
物事を多角的・柔軟な視点で捉え（見方）、思考（考え方）し、新たな問題の発見や解決につなげていく
- ② 『非認知能力』を引き出す  
目標や意欲、関心を持ち、粘り強く、仲間と協力して取り組む

### 4 主な特色

- (1) 学校の授業では再現できないリアリティ感をもって活動
- (2) 実際の仕事や企業が抱える課題を解決する業務を探究的に体験
- (3) 「自ら考え表現する」「他者と協働して意見をまとめる」活動を実際の業務課題を題材として体験
- (4) 多様な立場の大人、プロ＝企業の社員の見方や考え方に触れることができる

## 5 期待する学習効果

楽しく体験活動を行う中で、将来に繋がる様々な気づきを得て、日常の学習意欲が高まるなどの変容した姿が見られることを期待する。

## 6 位置づけや対象学年等

- (1) 授業の一環として実施する。「総合的な学習の時間」で取り扱うことを想定するが、特に規定は設けない。
- (2) 対象学年は、主に1年生とするが、学校の要望に応じて、2年生又は3年生で実施する。

## Ⅲ プログラムの概要

- 生徒がJOB LAND（探究館の2階）で開催される就職活動支援セミナーに参加する求職者（就職活動する大学生）となり活動する。
- セミナーの講師から指示された「業務の実践体験」とJOB LANDに設置された企業ブースで企業研究等を行う「就活準備の実践体験」に取り組む。
- セミナーの講師役は、協賛企業・団体の社員が1回（日）ごとに交替で担う。  
講師は、未来に向けて実際に抱える課題や取組、今後の展望などを説明のうえ、業務課題を提示する。また、活動を支援し、取組への評価を行う。
- 就活準備の実践体験は、研修を受けた市民ボランティアがセミナー運営スタッフ役となり、活動を進行する。

## Ⅳ 生き方探究館での体験活動の流れ

学校での 事前学習	<b>●体験学習の準備</b> 業務の実践体験に取り組む企業について調べるとともに、 企業研究する企業を決める。
9:45-10:00 LAND ホール	<b>●オリエンテーション</b> 活動の注意点や共通のめあての説明を受ける。
10:00-12:15 LAND ホール	<b>① 業務の実践体験</b> 1) ガイダンスを受ける。 セミナー主催者が招いた企業の社員＝講師から 仕事内容や企業理念、求める人材像などの話を聞く。 2) Job Mission（業務課題）の提示を受ける。 講師から業務課題の提示を受け、課題に取り組む際の 視点などの説明を受ける。 ※各企業の業務課題は、P10のとおり 3) 各自でアイデアを考えた後、グループで話し合い、 企画書にまとめる。 4) 企画書を発表し、講師から評価を受ける。
12:25-13:00	<b>昼食</b>

13:00-14:40 企業ブース	<b>② 就活準備の実践体験</b> 1) セミナー運営スタッフ（=市民ボランティア）から体験の進め方の説明を受ける。 2) 自己分析に取り組む。 以下の4つのワークに従って自己分析する。 興味・関心のある分野を探す／大事にしたい価値観を理解する／強みと弱みを知る／就職先を選ぶ時に重視することを考える 3) 企業研究に取り組む。 企業ブースにあるパネルや映像、デジタル資料をもとに調べた内容をワークシートに記入する。 4) 研究した会社との相性（マッチング度合い）を分析する。 5) 他の生徒と分析結果を交流する。 6) 他の企業ブースやガイダンスルームを見回る。 7) セミナー運営スタッフからアドバイスを受ける。
14:45-14:55 LAND ホール	<b>●終わりの会</b> 代表生徒が感想を述べ、1日の取組のまとめを行う。

## 【2班体制（生徒数が多い）時の時程】

🏠 生徒数が概ね60名を超える場合は、A班とB班の2班に分かれ、「① 業務の実践体験」と「② 就活準備の実践体験」の活動を交互に行う。

🏠 午前（A班）と午後（B班）で、「① 業務の実践体験」の講師役を担当する企業は異なる。

A 班		B 班	
10:00-12:15	① 業務 の実践体験	10:00-11:40	② 就活準備 の実践体験
		11:40-12:15	昼 食
12:15-12:25	移 動	12:15-12:25	移 動
12:25-13:00	昼 食	12:25-14:40	① 業務 の実践体験
13:00-14:40	② 就活準備 の実践体験		

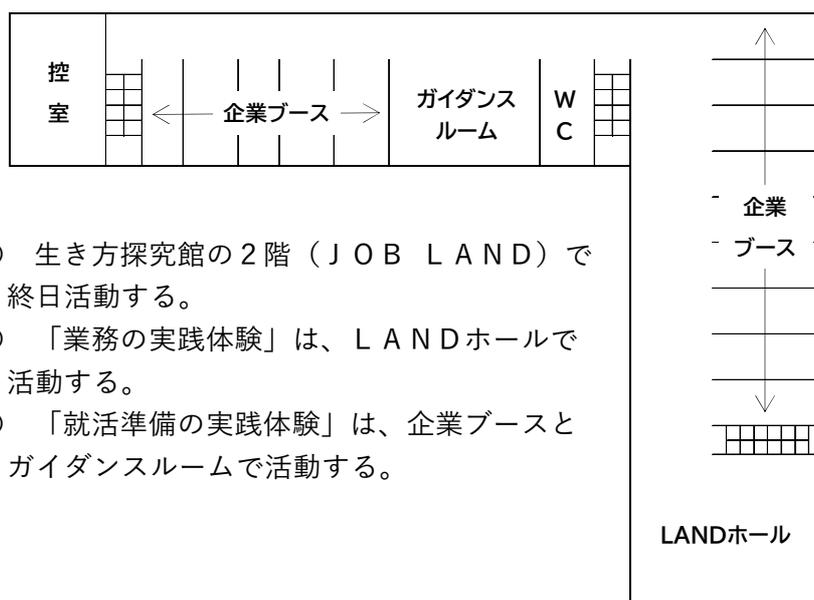
## V 学校での事前・事後学習

体験活動の前・後には、学校の授業で、探究館から提示するモデル例をもとに各校が策定した指導計画による学習を行う。

### 【モデル例】

- 事前学習：自分の人生や働くこと、SDGs を題材に世界をより良い場所にするために必要なことを考える。
- 事後学習：探究館の体験活動で得た気づきをもとに、人生や仕事で自分になりたい姿をまとめ、「ステキな未来設計図」を作成する。

## ●探究館での体験活動を行う施設＝JOB LAND（探究館2階）の配置図



- 生き方探究館の2階（JOB LAND）で終日活動する。
- 「業務の実践体験」は、LANDホールで活動する。
- 「就活準備の実践体験」は、企業ブースとガイダンスルームで活動する。

## ●各企業のJob Mission（業務課題）

企業・団体名 ※ブース並び順	業務課題の内容
ワタベウェディング(株)	”新しい結婚式”のスタイルを考えよう!!
(株)公益社	あなたならどのようにして「その人らしさ」を表現してお送りするか考えよう。
学校法人大和学園	クッキングスクールの受講生のための付加価値サービスを考えよう。
京都料理芽生会	日本の伝統文化である京料理を後世に残すには、どのようにすればよいのでしょうか？
(株)ローソン	10年後、「みんなと暮らすまちを幸せに」できるコンビニにするためのアイデアを考えよう。
ジブラルタ生命保険(株)	30年後の未来の生命保険商品を考えよう。
大阪ガスネットワーク(株)	この街を、支え続ける！「未来のライフラインカンパニー」として、安心・安全、快適・便利なくらし実現のためにどんな技術やサービスが必要でしょうか？
(株)京都新聞社	京都新聞Webサイトを、より多くの人に何度も見てもらうには、どうすれば良いか考えよう。
関西電力(株)	理想的なエネルギーミックスの割合を考えよう。
三井不動産(株)	総合デベロッパーとして、ハードもソフトも魅力的なホテルを考えよう。
(株)ジェイコムウエスト 京都みやびじょん局	J:COM社員になって、新しいサービス・仕事を考え出そう!!
京都中央信用金庫	「おんゆあ商店街」をにぎやかにし、活気のある商店街とするためのアイデアを考えよう。

※業務課題は、適宜、変更することがあります。

## 参考資料 2－提出書類（様式）

令和〇年〇月〇〇日

（宛先）京都市教育長

（名称）  
（代表者の職・氏名）

### 京都まなびの街生き方探究館の学習プログラム「ジョイ JOB LAND」 協賛申込書

京都市教育委員会が実施する標記の事業について、その趣旨に賛同し、下記のとおり協賛を申し込みます。

記

#### 1 申込者

所在地	
担当部署名	
担当者名	
連絡先	TEL E-mail

※事業内容、社員数、創業年、沿革、経営方針、組織体制、CSR活動の実績など貴社・団体の概要が分かる資料（会社案内など）を添付してください。

#### 2 協賛内容

##### （1）体験活動Ⅰ「業務の実践体験」に係る内容

###### ① 講師役の社員の派遣

1回当たりの派遣人数	
派遣社員の役職	
派遣可能な回数（年間）	
派遣可能な日程	

###### ② 生徒が取り組む「業務課題＝Job Mission」の提案

Job Mission の案	
----------------	--

※生徒に Job Mission を提示いただく際に、必要となる知識や考えるヒントとなる説明資料（パワーポイントや動画など）を添付してください。

### ③ ガイダンスにおける説明内容及び資料の提案

主な説明内容	
--------	--

※説明時に使用するパワーポイント資料を添付してください。

### (2) 体験活動Ⅱ「就活準備の実践体験」に係る内容

ブース出展（協賛）の可否	
ブースの整備内容 ※協賛する場合のみ記入	※パース図やレイアウト図の添付でも可

### (3) その他の提案

※生徒の活動の充実に繋がる協力が可能な協賛内容がある場合は、記入してください。
---

### 3 協賛期間の見込み

--